斑点米カメムシ類情報第3号

令和7年9月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

本田での発生量はやや少ない 畦畔では大型の種類が発生量が多い

8月下旬の巡回調査における本田のすくい取り調査（39地点75ほ場）において、斑点米カメムシ類の平均捕獲数が1.51頭（平年3.90頭、前年3.69頭）で、やや少ない結果でした（表1）。

また、畦畔雑草のすくい取り調査（39地点74ほ場）においては、斑点米カメムシ類の平均捕獲数が4.58頭（平年4.40頭、前年3.61頭）で、平年並の結果でした（表2）。しかし、カメムシの種類別にみると、イネカメムシ、クモヘリカメムシ、ミナミアオカメムシなど大型の種類が発生量が多い～やや多い状況でした。ミナミアオカメムシについては、予察灯における直近1ヶ月の総誘殺数もやや多い状況です。

防除対策は、7月16日発表の「令和7年度病害虫発生予察注意報第4号」を参照してください。また、2回目防除（出穂期防除の7日～14日後頃に実施する追加防除）以降、ほ場での斑点米カメムシ類の発生が多い場合は、必要に応じてさらに追加の防除を実施しましょう。なお、特定の農薬の連用を続けると、イネカメムシに対する農薬の感受性が低下する恐れがあります。複数回実施する斑点米カメムシ類の防除では、IRA Cコードが異なるように薬剤を選定しましょう。

表1 斑点米カメムシ類の8月下旬本田すくい取り調査結果（1ほ場あたりの平均捕獲虫数）

種類	発生量	本年	平年
ホソハリカメムシ	並	0.23	0.20
クモヘリカメムシ	並	0.67	0.94
シラホシカメムシ類	並	0.07	0.10
イネカメムシ	やや少	0.14	1.58
カスミカメ類	少	0.31	0.80
ホソナガカメムシ類	並	0.00	0.09
ミナミアオカメムシ	並	0.11	0.21
合計	やや少	1.51	3.90

（平年：平成27年～令和6年の平均値）

表2 斑点米カメムシ類の8月下旬畦畔すくい取り調査結果（1ほ場あたりの平均捕獲虫数）

種類	発生量	本年	平年
ホソハリカメムシ	やや多	1.28	0.62
クモヘリカメムシ	多	1.34	0.60
シラホシカメムシ類	多	0.77	0.15
イネカメムシ	やや多	0.16	0.08
カスミカメ類	少	0.95	2.89
ホソナガカメムシ類	やや少	0.01	0.09
ミナミアオカメムシ	多	0.07	0.01
合計	並	4.58	4.40

（平年：平成27年～令和6年の平均値）